

グラスパーキング緑化ブロック舗装システム

# グリーンパーク

緑化率 26~52%

打ち放し仕上げ

ショットブラスト仕上げ

変則スリット仕上げ

非透水製品

保水製品

■さまざまなブロックとGPスペーサーを組み合わせた緑化システムで環境に潤いを与えます。

■緑化でヒートアイランド現象を抑制します。



●ST-N型 H02・H10【ILT】

■秋吉台カルスト展望台駐車場（美祿市）



●ST-S型 H12・H10【ILT】

■仁保地域交流センター（山口市）



●ST-N型 H02・H10【ILT】

■中央公園駐車場（宇部市）

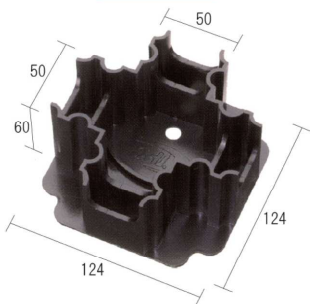


# バリエーション

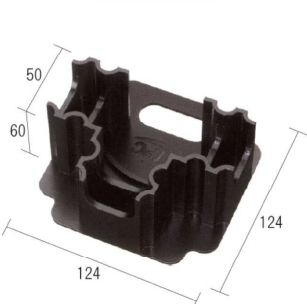
※ 舗装ブロックとのセット販売とさせていただきます。

## ● 芝幅 50mm

### GP-X型

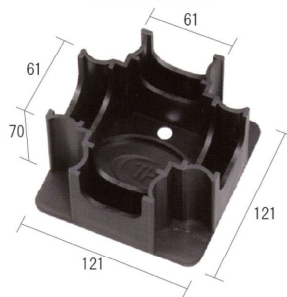


### GP-T型

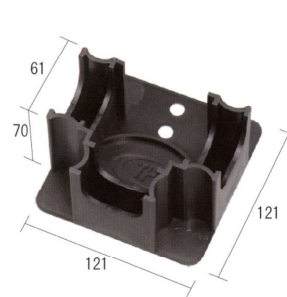


## ● 芝幅 60mm

### GP 2-X型

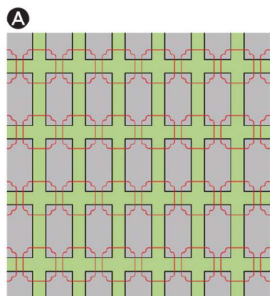


### GP 2-T型

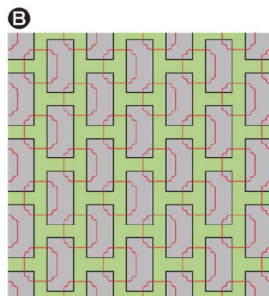


## パターン例

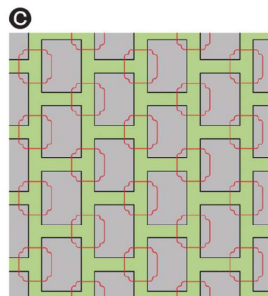
※ T-2 (2t車以下)



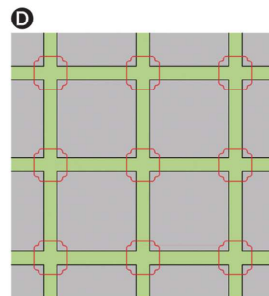
目地幅	緑化率	ブロック	スペーサー
50mm目地	47%	100×200×80	GP-X型
60mm目地	52%		GP 2-X型



目地幅	緑化率	ブロック	スペーサー
50mm目地	47%	100×200×80	GP-T型
60mm目地	52%		GP 2-T型

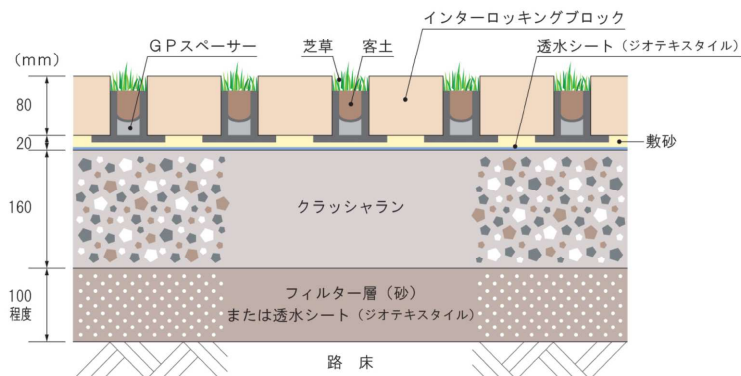


目地幅	緑化率	ブロック	スペーサー
50mm目地	40%	150×200×80	GP-T型
60mm目地	45%		GP 2-T型



目地幅	緑化率	ブロック	スペーサー
50mm目地	26%	300×300×80	GP-X型
60mm目地	31%		GP 2-X型

## 舗装構造例 (乗用車主体の駐車場)



## 施工手順



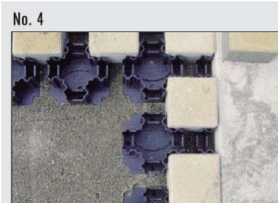
路盤上一面に透水シートを敷設した上に敷砂を凹凸ができないように平坦に均し、十分に転圧を行います。舗装の平坦性は、敷砂の平坦性で決まります。  
◆ 転圧を怠ると不陸の原因となります。



あらかじめスペーサーをブロックにあてがって持ち、順次ブロックを敷設していくと効率よく施工ができます。



ブロックとスペーサーとは微調整を行いながら、しっかりと密着させ、敷設していきます。  
◆ ブロックとスペーサーの間がすかないようにプラスチックハンマー等で叩きながらしっかりと密着させて下さい。



コーナー仕上げや端部はブロックとの隙間をなくし、必ず拘束させてください。  
◆ コーナー部は、スペーサーのカットが発生します。大型カッター等で切断して下さい。



ブロックの敷設が完了したら、客土をブロックの隙間に芝生を張りつける厚さを考慮し、充填していきます。  
◆ 客土のレベル調整は、あらかじめブロックの天端まで客土を充填し、角材等を用いて転圧します。



ブロックとブロックの間に合わせカットした芝生を隙間なく張りつけ、踏圧により芝全体を踏み固めます。  
◆ 芝生がブロックの天端からはみ出ないように張りつけて下さい。



芝に目土を散布し、芝に馴染ませて灌水をします。この時ブロックに付いた客土、目土等の汚れも同時に洗い流します。